

## 第9章 施設管理の目標設定

施設管理に関する目標を設定する意義は以下のとおりである。

- 1) 目標を設定することにより、管理者から現場の職員に至るまで、施設管理の方向性（目的）を共有することができる。
- 2) 目標の達成状況を評価することにより、今後の施設管理の方向性を改善できるとともに、アカウントビリティが向上し住民との相互理解に役立つ。

施設管理に関する目標としては、長期的な視点に立って目指すべき方向性及びその効果の目標値（アウトカム）と、アウトカムを実現するための具体的な事業量の目標値（アウトプット）の2つを設定する必要がある。

したがって、前項のリスク評価を踏まえて、下水道施設の点検・調査及び修繕・改築に関する事業の効果目標（アウトカム）及び事業量の目標（アウトプット）を設定する。

### 9.1 事業の目標設定（アウトカム）

アウトカムは、下水道施設の点検・調査及び修繕・改築に関する事業の実施によって得られる効果を定量化した目標を指し、社会的影響、サービスレベルの維持、事業費の低減を勘案して設定するとともに、計画策定及び段階的な進捗状況評価のために、目標達成期間を設定する。

### 9.2 事業量の目標設定（アウトプット）

アウトプットは、アウトカムを実現するために本市が施設を管理するうえで利用しやすい事業量の目標とする。

なお、アウトカムの実現のために、アウトプットは適宜見直すものとする。

表 9.2.1 に本市の点検・調査及び修繕・改築に関する目標（アウトカム及びアウトプット）を設定し、表 9.2.2 に段階的進捗状況把握のための目標（サービスレベルの確保）を示す。

表 9.2.1 点検・調査及び修繕・改築に関する目標（アウトカム及びアウトプット）

点検・調査及び修繕・改築に関する目標 (最終アウトカム)				施設種類別事業量の目標 (アウトプット)			
項目		目標値	達成期間	項目		目標値	達成期間
安全の確保	施設健全度の低下抑制	リスク大の割合を15%以下に抑える。	20年	設備	主要設備の改築	改築ユニット数 1~10件程度/年	10年
サービスレベルの確保	安定的な下水道サービスの	リスク大の割合を15%以下に抑える。	20年	設備	主要設備の改築	改築ユニット数 1~10件程度/年	10年
ライフサイクルコストの低減	目標耐用年数の延長	状態監視保全を行っている設備の目標耐用年数を更にのばす。	20年	設備	点検・調査の重視及び劣化の早期発見による延命化	定期的な状態監視保全の調査を行うことによって、部品単位の交換を行う。 4件/5年	10年

表 9.2.2 段階的進捗状況把握のための目標（サービスレベルの確保）

目標種別	項目		短期目標 (5年)					中期目標 (10年)					最終目標 (20年)				
点検・調査及び修繕・改築に関する目標	設備	リスク大の割合	25%以下					20%以下					15%以下				
施設種類別事業量の目標 (アウトプット)	設備	主要設備 (ユニット) の改築	5年間で25件					5年間で20件					10年間で50件				
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	・	・	・	20年
			6件	5件	4件	5件	5件	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
			5件/年					5件/年					5件/年				

  
評価と見直し

  
評価と見直し